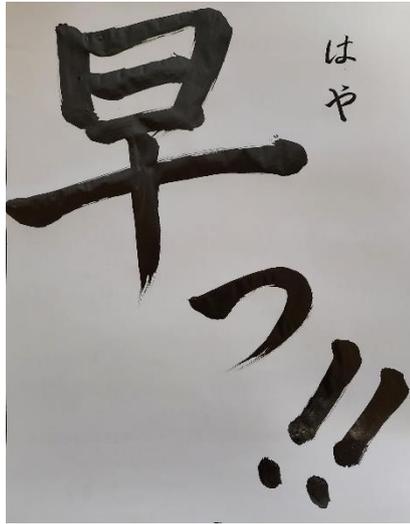


慶念寺々報

つなぐがけ

慶念寺の掲示板 第二十八回



「早っ!!」
昨年度、神奈川県庁より三年分の活動報告が認められ宗教法人設立に向けて動き出す許可をいただきました。それによって今年は、慶念寺が大きく進んだ一年でした。

まず、昨年末にそれまでの御本尊では、宗派からの包括の承認がかなわないことがわかり、年明けから新しい御本尊をお迎えするために奔走し、五月末に設立総会。九月には宗派から、いったんストップのお達しがありその対応に奔走しました。そして十一月には、皆様のご協力もあって、江戸時代初期に製作された当時のおすがたに戻った新たな御本尊様をお迎えし、入仏式や報恩講。本当にあつ

という間に過ぎ去った一年だったように思います。

でも、この一年だけではなす。私が慶念寺を開いたのが二〇一六年。この七年はあつという間に過ぎ去ったという思いです。



す。その間にも、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、「これからどうなるのだろうか」と悩んだ日々もありました。おかげさまでここまでこれたことは本当に嬉しいことです。

ぼんやりしていたら、時というものは過ぎ去ってしまう。だからこそ、日々を丁寧に過ごすことが大切なのだと思います。私がお通夜の法要の時には、決まってお勤めする聲明があります。それは、『往生礼讃日没讃』の「無常偈」。意識を書きますと、「人間はあわただしく日常生活のさまざまな勤めをあくせくと営み、あつという間に月日が過ぎ去ってしまうことを気にかけることは無い。風の中にあるローソクの火いつ消えるともわからないように、次々と六道の世界を生死輪廻して、定まるところが無い。いまだに苦しみの世界を出て、悟りの世界に到ることが出来ない。どうして、日々をぼんやりと過ごし、驚き恐れずにいることが出来るようか。おのおのよく聞け。健康でいられる時、自らつとめはげんで、一日も早く涅槃寂靜の悟りを求めよ」



私たちは、いつ終わるとも知れないのちを生きています。若いままではいられない、健康なままではいられない。愛しい人とずつと変わらざるにもあることもかなわない。だ

からこそ、今できることを丁寧に、頂いたご縁を大切にしますので。「どのようなあなたであつても決して見捨てはしないよ」という仏様の願いを聞かせていただくのです。聞かせていただいても、最後には聞けない時は来ます。忘れてしまう時がきます。でも、たとえ忘れてしまつても聞く前の私に戻ることはありません。

「早っ!!」と人生は終わつてしまいます。このことを忘れないようにしたいものです。



初の団体参拝に行つてきました!

十二月の十九日・二十日にかけて、初の団体参拝に行つてきました。目的は、二十日の本願寺のお煤払い。前日は、本願寺の両堂や、国宝の飛雲閣・書院を拝観してきました。



飛雲閣・書院共に普段は非公開になっておりますが、今回は住職の伝手をたどつて拝観することが出来ました。飛雲閣は、金閣・銀閣と並び「京都三名閣」と言われております。

また、書院では重要文化財でもある日本最大の屋外能舞台「南能舞台」、そして国宝で日本最古の屋外能舞台「北能舞台」なども拝観をさせていただきました。その後は、洛中の素敵な所で食事をして解散いたしました。



二日目はいよいよ、本番のお煤払いです。本願寺のお晨朝(朝のお勤め)から参拝し、準備を整えたら、お堂に移動して説明を受けます。そして、アナウンスを受けてお煤払い開始。竹の棒を持って畳をたたき、埃を巻き上げます。始まる前は

とても寒かったです。終わるころにはすっかり汗をかいておりました。この後は市内観光をして終了です。団体参拝は恒例行事にしていこうと思っておりますので、機会がありましたら是非ご参加ください。

また、参加者の方の感想を掲載する予定ですのでお楽しみに！本堂には市内観光のレポートも掲示予定です！

発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年一月二十八日(日) 十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々娘も参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかなる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、感染拡大防止のための暫定的な処置として、オンラインを利用してのご法事も行っております。お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

お手紙下さい

おうちにあまつている便せんやハガキ、切手などがありませんでしたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

次回の法話会は

一月二十一日(日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「定例法話会」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

編集後記

十二月は、実家の報恩講が終わってすぐに息子がインフルエンザに罹り、ほぼ一週間何もできない日々を過ごしました。「ちよっと早めの冬休み♪」くらいに思っていたのですが、冬休みが明けると止まっていた事務仕事やら団体参拝の準備やらが怒涛の勢いで迫ってきて、てんやわんやな日々を過ごしております。とはいえ、もう年末。もしかしたら、これが届いていくころには年が明けている方もいらっしゃるかもしれません。

そして、慶念寺初の団体参拝。今回は主に門信徒名簿に載っている方にご案内を差し上げました。もし案内を受けていない方で、今後の参加をご希望の方は門信徒名簿への加入をご検討ください。門信徒名簿へ加入とは言っても、現状義務などはありません。ちなみに次の団体参拝は築地本願寺を計画中です。



浄土真宗本願寺派 築地本願寺

川崎多摩布教所 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL
<https://kyounenii.com/>



慶念寺ホームページ QR コード